

助産雑誌 Back Number

★バックナンバーのお取り扱いについて

- ① 2018年10月号以降の雑誌は、医学書院受注センター(TEL: 03-3817-5666)にて承ります。
- ② それ以前の号についてのご注文や在庫のご照会などは、下記へお願いいたします。
株式会社東亜ブック 〒178-0061 東京都練馬区大泉学園町 5-27-11
TEL: 03-5947-4781 FAX: 03-3923-4539



2020年9月号

特集

助産師が学び、実践したい骨盤ケア

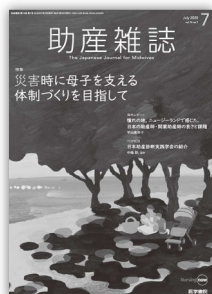
骨盤周囲の筋肉を損傷し、出産後、尿・便秘、骨盤臓器脱といった症状を経験するお母さんは少なくありません。これらの疾患の予防・回復に、大きな役割を發揮するのが骨盤ケアです。特集では骨盤ケアを学ぶ意義、実践、セルフケアのポイントに触れています。



2020年8月号

特集

胎児の病気が見つかった時
妊婦と家族のどんな選択も支える助産師に
妊娠中に、おなかの赤ちゃんの病気が分かることがあります。妊娠継続をするか、それとも産まない選択をするか、妊婦と家族に決断が迫られます。どのような選択でも、妊婦と家族が孤独にならないような具体的な支援策をまとめました。



2020年7月号

特集

災害時に母子を支える体制づくりを目指して

毎年、さまざまな災害に見舞われる中、お住まいの地域に、いつ大規模な災害が襲うかもしれません。特集を通じて、より適切なケアを母子に届けられるような医療体制が組まれているか、再確認の機会としていただくと幸いです。



2020年6月号

特集①

「助産」とは何か
改めてその専門性を問う
助産師を取り巻く環境が以前とは変化している今、改めて「助産とは何か」を考えます。

特集②

助産師の新たなアプローチ
子どもを持つ女子受刑者の出所後も含めた支援とケア
女子受刑者の出所後を見据えた支援活動の実際をご紹介します。



2020年5月号

特集

妊娠期からできる虐待防止の方策
「気になる妊婦」を見つけるための連携と支援
将来発生するリスク・事件を未然に防ぐために、本特集では「気になる妊婦」や「特定妊婦」といった虐待リスクの高い妊婦への支援方法を取り上げ、助産師が関わるタイミングで、虐待防止のためにできることを考えます。



2020年4月号

特集

妊娠糖尿病
妊娠期から始める女性の健康支援
2020年4月、妊娠中のみを対象としていた「在宅妊娠糖尿病患者指導管理料」が産後まで拡大されました。特集では、産後の2型糖尿病発症予防の観点から、妊娠褥婦それぞれの個性を捉えた、母子双方へのより良い支援を考えます。

2020年 特集

- 3月号 助産師が活用したい、出産・育児のためのマインドフルネス
- 2月号 外国人妊産婦のケア転換期 在住者・旅行者を受け入れるための「乗り越え課題」とは
- 1月号 自由な発想で助産ケアを発信しよう 社会に広がる助産師の活動

2019年 特集

- 12月号 多胎出産をした母親と家族へ必要なサポートとは
- 11月号 「授乳・離乳の支援ガイド(2019年改定版)」をよりよく活用するために
- 10月号 「助産師の自律」と「女性中心のケア」を実現するために
- 9月号 みんなが参加したくなる 両親学級&母親学級のヒケツ